



関東支部会報

第7号 (2024年1月発行)

支部長 TN

新型コロナウイルスの感染が嵐の様に広がり多数の死者が出て、それから一年が過ぎ、今はメディアも一連の事態を振り返ることもなく、そして酒の席でも話題に上がることが少なくなった。ただ、人々は忘れたように振舞っているだけで、本当に忘れたわけではない。昨年秋、久々にサーバス旅行に出かけ、スペイン・マドリッドでは街にあふれるほどの人が集まり楽しそうに歩いているのを見ました。会員みなさま、如何お過ごしでしょうか。今日は支部会報第7号をお届けします。

掲載内容

1 **支部会** 12月2日 13時～17時

- ・クリアファイルと関東観光案内図チラシの作成について
- ・サーバス台北との交流会の実施
- ・入会・退会や LOI の申請などの提出書類について
- ・テナーサックスのミニ・コンサート
- ・サーバス旅行体験談
 - 1) [TEさん](#) スイス-ペンテコスト・ミーティングとイタリアサーバス旅行
 - 2) [MFさん](#) サーバス旅行報告
 - 3) [KMさん](#) ヨーロッパ・ドライブ旅行
 - 4) [TSさん](#) あこがれのスイス旅行
 - 5) [TN](#) スペイン南部アンダルシア地方を旅して

2 **支部からのお知らせ**(新規入会者、退会者の紹介)とお願い

1 関東支部会

12月2日 JICA 地球ひろば 13時～17時

出席者 会場 会員15名 見学者7名、On Line(Zoom)参加 3名 計25名



・テナーサックスのミニ・コンサート



Tの友人、IさんとMさんによるテナーサックスのミニ・コンサートが支部会終了後に約30分がありました。

曲名 Moon River、フライミートウーザムーン、涙そうそう、夏の終わりのハーモニー、Hey Jude、White Christmas

・クリアファイルと関東圏の観光案内図チラシの作成について

3月の支部会で、ホストやトラベラーに渡せる小物のお土産をつくることを決めました。これを受け国際サーバスの絵柄が入ったクリアファイルとその中に差し入れる関東支部内の観光案内図のチラシ（QRコードをスマホで読むと関東の観光案内を見ることが出来る）を作りました。これを先ず1月に行われるサーバス台北との交流会のお土産として持って行くことにします。ファイルとチラシのセットは300部作るので会員のみなさんにも5セットずつ配ることが出来ます。



・サーバス台北との交流会について

2019年11月に台湾のサーバス台北との交流会を関東で行いました。その後2020年台北での交流会は新型コロナウイルスの感染拡大で延期となりました。この程サーバス台北との話会で今年1月に台北で開催されることになりました。

関東支部からは、14名が参加します。

参加者：Mさん、Iさん、Tさん2名、Cさん、Sさん、Kさん2名、Aさん2名、Yさん、Sさん、Tさん2名

日程：2024年1月13日～16日+optional tour 2日

内容：ホームステイ2泊+ホテル1泊



2019年11月に関東で行われたサーバス台北との交流会

・入会・退会やLOIの申請などの提出書類について

・ サーバス旅行体験談

1) スイス-ペンテコスト・ミーティング、イタリアサーバス旅行に参加

5月～6月 TE

本日、皆様の前で感想をお伝えするのを楽しみにしておりましたが、家庭の事情で伺えず、お手紙で、大変恐縮ですが、お伝えさせていただきます。

今回初めて、スイスとイタリア旅行に行き、サーバス及び、ご一緒に行動して頂いた日本の方達に、大変感謝しております。

人生最大の経験をする事が出来、様々な思い出を作ることができました。

スイスで驚いたことは3点あります。

- ① 車の前に人がいても、クラクションは鳴らさないことです。日本では目の前に人がいるとクラクションを鳴らし、怒鳴り声をあげる人がいるので、スイスの人々は温厚な人が多いと思いました。
- ② スイス、チューリッヒのまわりが湖なので、時間短縮するには、フェリーに車を乗せて移動をすることです。日本ではフェリーに乗せる時にお金が掛かるのですが、前払い形式がとられていました。
- ③ 交差点に信号がないことに驚きましたが、その秩序の取れた交通システムに感心しました。道路は整備され税金の効率な使われ方に感銘を受け、無駄な出費の無さを感じることが出来、心地よい滞在となりました。

この公共サービスの充実と清潔な環境は、その国の人々の賢明な選択と組織力の賜物だと思っております。

イタリアでの旅行では2点ございます。

- ① 道路の両端縦列駐車が多く、狭いスペースにぎゅうぎゅう詰めて停めておられる光景が目立ちました。前後の隙間が10センチしかなく、私だったら停めるのが難しいと感じました。
- ② 公共トイレ有料のうえ、あまり綺麗ではない所に驚きました。日本ではトイレにお金がかかる事がないので、その制度に驚愕しました。

今回両国で異なる文化や環境を体験することが出来て、貴重な経験となりました。また、機会があれば様々な国の文化を体験したいと思っております。

2)サーバス旅行報告 関東支部会員 MF (T・H)

MFさんは、今年日本サーバスの『竹中プロジェクト旅行支援』に応募され、10月にヨーロッパ（イギリス・フランス）のサーバス旅行をされました。

Couchsurfingのメンバーから Servas のことを知り、今年9月、日本サーバスの会員になりました。そして『竹中プロジェクト・旅行支援』があることを知り早速応募しました。

旅行は、10月15日から10月30日まで約2週間、初めてのヨーロッパ（ロンドン/パリ）です。是非、一緒に時間を過ごせるサーバス・ホストを探したいと思いました。しかしながら思ったよりとても難しかったです。SOLを使ってロンドンやパリのホストに何度もリクエストを送りましたが、全く返事はありませんでした。

ほぼあきらめていたところ、旅行の終わりになってようやく、10月29日、ロンドンで day host の M さんに会うことができるようになりました。St. Paul で day host の M さんに会いました。彼はブラジル人で、ロンドンに移住し 10 年になるとのこと。彼と一緒にコーヒーを飲みに行きました。ロンドンでの彼の生活やサーバス活動などについていろいろと話しました。その後、ロンドンのいろいろな観光案内をしてもらい、また人気があるカフェなども教えてもらいました。本当にうれしい日でした。

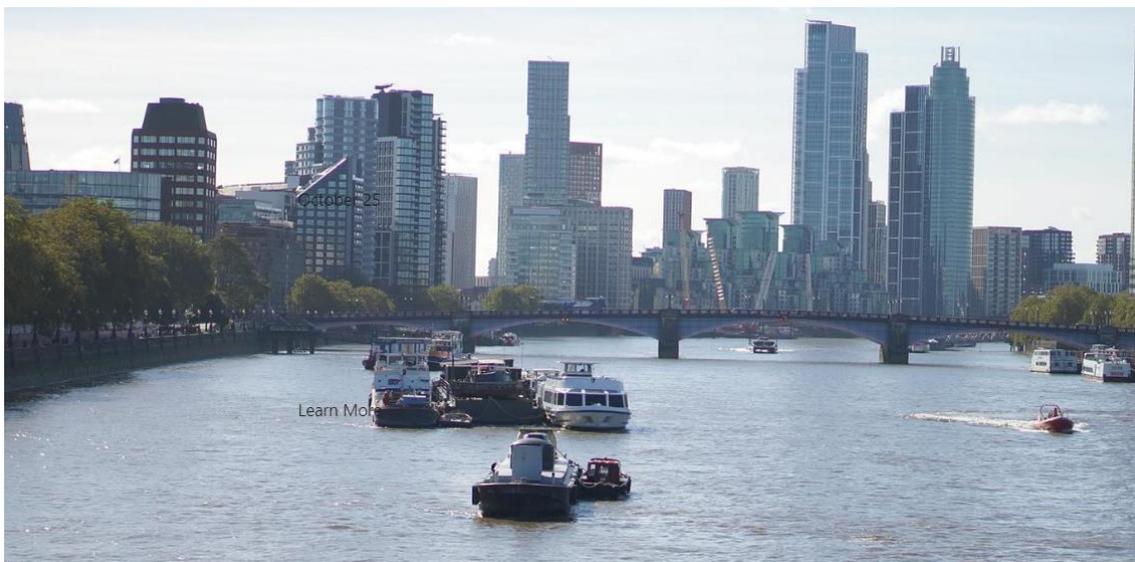


彼はとても優しい人で私にコーヒーをご馳走してくれました。ともかく初めてのヨーロッパ旅行だったのでとても楽しく刺激的でした。ロンドンでは、イングリッシュブレックファストやフィッシュアンドチップスなど、おいしい食べ物をたくさん食べることができました。

ビッグベン、バッキンガム宮殿、ウェストミンスター寺院など、ロンドンの多くの有名な場所を訪れました。ロンドンの天気はいつも曇っていてとても悪いと多くの方が言いますが私が訪れた時は 天気が良かったので素晴らしい景色を眺めながら素敵な写真をたくさん撮ることができました。



最後になりますが、『竹中プロジェクトの旅行支援』を支給して頂き有難うございました。今回、初めてサーバス day host を経験し、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました。次の旅行ではもっと余裕をもって host に連絡を取り充実したサーバス旅行をしたいと思っています。また、日本でもトラベラーからリクエストがあれば day host をしてあげたいと思っています。



3)ヨーロッパ・ドライブ旅行 KM

2023年の6月、約一ヶ月間夫と共にスイスを中心に、フランスのアルザス、ドイツのボーデン湖、イタリアのコモ湖あたりを、ドライブして十二家族のサーバス friends を尋ねしました。



チューリッヒ到着時に車を借り一か月後にチューリッヒから日本に帰りました。最初の三日間はスイス主催 Pentecost ミーティングに参加し、そのあと夫と合流してあちこち観光しました。リュートイスブルグやザンクト（セント）ガレンを見学して最初に尋ねたホストはドイツ、コンスタンツの G さんのお家。百年をこえる石造りの大きな館の一部で内部はモダンに改装されエレベーターまでついていました。今は夏ですがスイスの最も有名な料理を是非にと、冬の料理チーズフォンデュをごちそうになりました。それとともに、7年前に離婚され近くに住んでおられる前のご主人からおいしいスープの差し入れがあり恐縮してしまいました。



次の日はベルンの郊外の B さんのおうち、スイスの伝統的民家シャーレにお住まいで、目の前に牧草地が広がり乳牛たちが草をはむのどかな風景を楽しみながらテラスでの夕食は格別でした。翌日電車でスイスの首都ベルンへ。世界遺産にもなっている美しい街で、アーレ川に沿った街並みはため息が出る程素敵でした。深緑のアーレ川には、気持ちよさそうに流れに乗って泳いでいる人々もいました。

国境を越え長い間行きたいと思っていたフランスのアルザス地方に向かいました。ストラスブール、コルマル、リクヴィアと美しい木組みの家々が並ぶ旧市街をめぐり、旅情を味わいました。ストラスブールのホスト C さん、日本が大好きで、この秋来日の予定がある友人 M さんを引き合わせてくれました。伝統的なフランス料理店でもてなしを受け、日本語での会話も楽しみました。秋に日本でお会いできますね。と申しましたら、「私は、日本の大都会には興味ないの、能登半島と城崎温泉しか行きません」といわれ、ちょっとがっかり。アルザスを後にしてレマン湖のほとり Geneva の M さん宅に宿泊させていただきました。ジュネーブ駅から五分の場所にあるにもかかわらず、静かなお住まいでお食事はいつも中庭でいただきました。レマン湖の高さ 140 m の大噴水を見て、中世の城シヨン城を見て憧れのスイスに来たのを実感しました。



いよいよこれから山岳地帯に入ります。国境を越えフランスのシャモニー、モンブランそしてチェルマットへ、途中、残雪 2000m の曲がりくねったドライブウェイは生きた心地がしませんでした。まじかに美しい山々を望む Siere では、R さんのお宅に滞在しました。周りには沢山のお城があり、その一つが彼女の先祖の城で今はワイナリーになっていて、おいしいワインを tasting させていただ



きました。その後憧れのイタリアのコモ湖を訪ねましたが、スイスのあまりに美しい湖を見た後でがっかりしました。Locarno の G さんのお宅では、奥様が旅行中でご主人がそれはそれは美味しいイタリア料理をふるまって下さり大満足しました。奥様が留守なのに受け入れていただけの優しさ、度量の広さに感動しました。この後、先年 Davos 会議で有名になった町で、山の麓にある D さんのお宅へ。オーストリアから移住された若いカップルで、小学生と幼稚園のかわいいお子さんがいて、共稼ぎの忙しい方々でしたが、とでも歓迎していただき、お料理のおいしかったこと。山小屋風の大きな建物に三家族が share して生まれ、日本の住まいとは比べ物にならないほど広いお部屋でした。

オーバーランド地方（グリンデルワルト、ツウーン湖）を拠点にして 4 回ほどハイキングをしました。何しろ老齢ですから、登りは避けもっぱら下りばかり、雄大な景観を楽しみました。スイスはいたるところ美味しい山の水が飲める水道施設があり、清潔で美しく正に観光立国。しかし公衆トイレは日本には及びませんでした。物価は日本の 2 倍だそうですが、果物は日本よりはるかに安かったです。



最後のホストはチューリッヒ空港近くの J さんのお宅。ご夫婦から是非にと勧められ、ラインの滝へ行きました。夜来の雨ですごい水量、迫力で行ってよかったと思いました。長いようで短かった一か月。ホストの方々の温かいおもてなしを受け、改めてサービスの素晴らしさを実感させていただきました。

4) あこがれのスイス TS

支部会で発表がありました。ただ本部の会報 2023 年 8 月号に『[あこがれのスイス](#)』として掲載されています。ここでの掲載は割愛させていただきます。

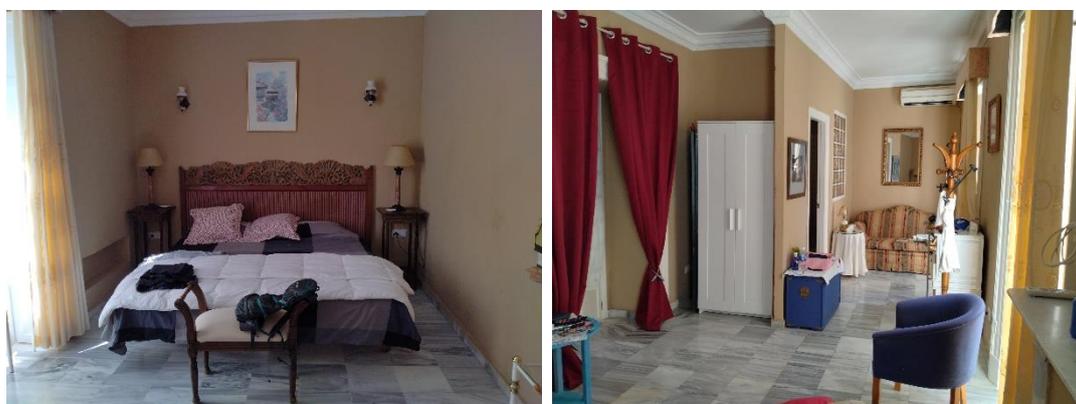
5) スペイン南部アンダルシア地方を旅して TN



2年前、メキシコの友人から紹介され親しくなった El Puerto de Santa Maria に住む J さんをこの*秋、家内と一緒に訪ねた。彼はサーバス・メンバーであるが事情により今回は彼の紹介で友人 R さんが Jerez de la Frontera で営む宿 (Hostel) に泊めて頂くことになった。

*2023 年

9月25日、その先の旅行先 Córdoba から電車に乗り午後3時過ぎに Jerez の駅に着くとホームで J さんが私達を出迎えてくれた。タクシーに乗り宿に向かい、彼から友人の女将さん R さんを紹介され、部屋に案内される。宿は小さな宮殿の様な造りで、案内された Bed room は 20 帖もあろうかと思われる広々とした部屋で大きな窓が3つも付いている。共用の Kitchen や Dining Room も整っている。



宿のお客さんは、マドリードからホリデーで遊びに来た M さん（女性）とイタリアのサルデニアから来た芸術家 S さん（男性）の 2 人。宿はとってもアットホームな感じ。J さんにこれから 8 日間もお世話になるので、彼、女将さん、お客さんたちを呼んで翌日の夕方にパーティーをしたい旨伝え、みなさん喜んで参加してくれることになった。

翌日、女将さんに聞いて街の市場にパーティーの食材探しに出かける。市場で新鮮な魚介類や野菜を見つけ買う。お隣にスーパーのカリフルがありビールとワインも買う。R さんに食器を出してもらい、テーブルセッティングはお客さん達に手伝ってもらう。メニューはチラシ寿司、鳥と野菜のスープ、新鮮な小魚の唐揚げ。唐揚げだけは R さんに作ってもらう。

夕方 9 時からパーティー開始。J さんは勿論、R さん、M さん、S さん、みんなが楽しんでくれている。スペインでは英語が話せない人も多く、このパーティーでも会話は主にスペイン語。でも陽気にビール、ワインを飲み、美味しいちらし寿司、鳥と野菜のスープ、魚の唐揚げ頂きながら、スペイン語でのお話はとっても楽しい一時だった。



その翌日9月27日、Jさんに Cadiz の街を案内してもらおう。私達は Jerez から電車で乗り Cadiz に向かう。11時、Cadiz の駅でJさんと待ち合わせる。Cadiz はヨーロッパで最も古い都市のひとつで海上貿易の拠点として栄え、半島の先端に大きな町がある。とても素敵な街を巡る。スペインでは大きな町でないと ATM から日本のクレジット・カードで現金を引き出すことが出来ない。この Cadiz の銀行で漸く現金を引き出すことが出来た。



お昼の時間(午後3時ごろ?)になりビーチに近いところにあるレストランでJさんとランチを頂く。新鮮な魚の唐揚げに冷たいビールはとっても美味しい。



9月28日、Jさんのご自宅でのパーティーに招かれる。彼の家は El Puerto de la Santa Maria にあり、Jerez から車で30分。Jerez から Mさんの車で向かう。車が無いと彼の家には行けない。彼は独身（バツイチ？）で大きな家に住み、私達夫婦2人だけではとても大きすぎる。



ランチを頂き、その後シエスタ（昼寝？）をし、夕方、大西洋に面したピ La Muralla のビーチで海水浴を楽しむ。とっても楽しい一日を過ごす。（夕方7時ごろ）



9月30日、Jさんに兼ねてからお願いしていた Coria del Rio を訪ねる。

Coria del Rio という小さな町に約 600 人のハボン姓 (Japon) を持つスペイン人が暮らしている。その由来は、17 世紀の慶長遣欧使節にさかのぼる。1614 年伊達政宗の命を受けた支倉常長とその一行 30 名の日本人が長い航海の末コリアにやって来た。彼らは交易と宣教師派遣を目的にスペイン国王とローマ法王に拝謁使命を授かっていた。その一行の出発点がコリアであった。結論からいうと目的は達せられないうえ、その間に日本はキリシタン禁止令が発布された。一行の内数名は帰国せずコリアに留まり、その子孫が今日までハボン姓を受け継いでいるという。グイダルキビル川沿いの Parque Calros Mesa 公園に宮城県から贈られた支倉常長の銅像がある。(地球の歩き方より)

予め Jさんは Sevilla から一緒に Coria del Rio へ案内して頂ける Sevilla のサーバス・メンバーの Cさんと Nさんと連絡を取り、Sevilla で待ち合わせる。Coria del Rio は Sevilla から約 10 km。午後 3 時ごろ Coria del Rio に着き、先ずみんなで昼食を取る。食事の後、5 時ごろから歩いて支倉常長の銅像に向かう。





石碑には、彼らのお墓はないものの苗字に Japon（ハボン）をつけた子孫を残し、今もこの街に、例えば Antonio Japon や Gonzalez Japon などと言う子孫が沢山残っていると。たまたま通りがかりの老人がこの街の元町長で、たくさんお話を聞くことも出来た。



10月3日 旅も終わりになり今日は Jerez から電車でマドリードに向かう。
その朝、Rさんは私達のために朝食にとトルティージャ、鳥の唐揚げ、チャーハンを作ってくれ、更に電車の長旅のためにと残りでお弁当も作って下さる。感謝、感謝。

今回の旅では、スペインでの「ちょい住み」を体験し、スペイン語会話の機会が沢山あり、そして何よりもサーバス・メンバーEl Puerto de la Santa MariaのJさん、SevillaのCさんやNさん、そしてJerezの宿の女将さんRさん、お客さんのMさんやSさんと本当に楽しい時間を過ごせたのが今回の旅での一番の恵みだと思います。またいつか Andalusia を訪ねて見たいと思っています。



Hostel の女将さん Rさん

2. 支部からのお知らせとお願い

- ・ 1月1日現在の関東支部会員数は46名(内家族会員4, トラベラー会員1名)
- ・ 昨年 9月に MF さんが入会されました。
- ・ 2024年度(1月~12月)の年会費、一般会員は3,000円、学生会員は2,000円を遅くとも1月31日までに支部の口座に振込みをお願いします。

...